

# にしおの

## 「おばちゃま劇団」へ 体験入団

# おっ!



ど派手な衣装に奇抜なメイク。平均年齢65歳の女性10人で構成する「おばちゃま劇団」は、ボランティアで介護施設などを訪れ、往年の名曲を歌うシヨールで、たくさんの人を元氣付けています。依頼が絶えないシヨールの人気の秘密を探ろうと、体験入団してきました。参加したのは、1月下旬に市内のデイサービスで行われた慰問です。事前に取材したこと、一緒



右端が筆者

に参加したいことを伝えると、二つ返事で承諾。「特に練習しないから、心の準備だけして来て」との言葉に、不安を抱えながら本番当日を迎えました。控室には、スパコンロールでキラキラ輝く衣装と七色のかつらで着飾り、化粧を済ませた皆さんの姿が。私も紅白の衣装に着替え、太いまゆ・真つ赤な頬に化粧して準備を進めます。鏡で見た自分の姿に驚き、どんなことをするのか心配していると、手渡されたのは、スコップで作った「二味線」と桂拔きの「ばち」。不安がさらに増します。シヨールが始まり、懐かしの名曲をバックに出演者を紹介すると、会場からは拍手が送られ、つかみはバツチリ。歌手やキャラクターに扮して利用者の手を取りながら歌う姿は、まるで大物の歌手のステージを観ているような、そでないような。半ば強引に職員の手を引き一緒に踊るなど、シヨールは面白おかしく繰り広げられます。歌と一緒に口ずさみ、楽しそうに手をたたく姿が見られるなど、自然と笑顔になるのが印象的でした。私自身、初

めは恥を捨てきれず、あたふたしていました。が、気付けばリズムに合わせスコップ三味線を叩くように。会場を回っていると、「あり」と、「あり」とおじいさんが笑顔で手を握ってくれ、なんだかうれしい気持ちになりました。約30分のシヨールはあっという間に終了。「楽しかった人！」という問い掛けに、会場にいる全員が手を挙げました。決して完成度が高いとはいえませんが、楽しませたいという気持ちで十分伝わるシヨール。リピーターが続出するのもうなずけます。おばちゃま劇団のメンバーは普段、主婦や仕事などをしていて、活動をはじめたのは、約10年前。数人のメンバーが老人ホームから依頼を受けて慰問したのがきっかけです。「来てくれて、ありがとう。待つとるで、また来てね」と言われるのが原動力」と話してくれたのは、代表の加藤恵子さん（一色町）。おばちゃま劇団のシヨールの魅力は、ドタバタながらも、とにかく面白いこと。もともと人を喜ばせるのが好きだった加藤さんたちは、ただ歌を披露するだけで



(原田成美)

は面白くないと、オリジナルの衣装を着て、客席も巻き込むという現在のシヨールの形を作り上げます。「衣装も自分たちで作る。ああでもない、こつでもないってみんなで作るのが楽しいだよ」。現在は、月に2〜4回、慰問しています。パワフルなパフォーマンスで盛り上げるシヨールの評判は口コミで広まり、次々に依頼が舞い込むようになりになりました。最近、警察署からの依頼で、高齢者を狙う電話詐欺の被害を防止する替え歌を作成。昭和の名曲にのせて披露しているそうです。たくさんの人と交流を楽しむおばちゃま劇団のパワーに圧倒されるとともに、型にとらわれない皆さんの勢いを目の当たりにしました。「面白くなければ意味がない。自分たちも楽しみたい」という気持ちで、パワフルなシヨールの人気が秘密だと感じました。



## 「きれい」を広げる

### 西尾を美しくする会

「西尾を美しくする会」は、27年6月に鶴城丘高校の生徒と有志が行ったトイレの美化活動がきっかけで結成されました。現在は名鉄西尾駅や吉良吉田駅、歴史公園で美化活動しています。

気持ちはいつも目にするものに似るといわれています。汚れた環境では気持ちは荒れて人間関係が悪くなり、整った環境では穏やかな気持ちで生活できます。教師をしていた頃、教室環境を整えることを重視して掃除を指導しました。すると欠席者や遅刻者が減り、学年全体が落ち着き、私は掃除の力を確信しました。

ごみは街の文化レベルを象徴します。散乱するごみが増えれば、街は住みづらくなります。西尾が住みたいまち、訪れたいまちになるよう、今後も活動を続けます。小さな活動ですが、続けることで根が育ち、木が成長します。この根っこが市民一人一人の根っこつながれば西尾を美しくする大樹が育ちます。一人の百歩より、百人の一步が大きな力になる——私たちは、そんな思いを込めて活動しています。

☎高野 (☎090・4215・1727 / 米津町)

このコーナーに登場してくれるサークル・ボランティア団体を募集しています。詳しくは、秘書課広報担当 (☎65・2159) へ。



村松 岳くん  
(亀沢町)

平成28年9月生まれ  
岳の笑顔はみんなを和ませてくれます。暁と仲良し兄弟でいてね♡



小笠原 凜ちゃん  
(宮町)

平成28年3月生まれ  
甘えん坊で食いしん坊の凜ちゃん♡いっぱい食べて元気に育ってね。



平岩 志惟くん  
(一色町)

平成28年1月生まれ  
おどりが大好きしのぶくん。元気いっぱい優しい子に育ってね♡



宮地 菜望羽ちゃん  
(中畑二丁目)

平成28年3月生まれ  
2歳おめでどう♡たくさん遊んで心も体も元気に大きくなってね！



朝岡 千晴ちゃん  
(熊味町)

平成28年9月生まれ  
わが家のアイドルちはるちゃん♪ 笑顔いっぱい大きくなってね♡



釜石 唯叶くん  
(平坂町)

平成28年11月生まれ  
元気いっぱいの唯叶の笑顔はみんなの癒やし♪ 成長が楽しみ♡



朝岡 鈴ちゃん  
(吉良町)

平成28年9月生まれ  
食べることの大好きな鈴。元気いっぱい笑って大きくなってね。



福井 和玖くん  
(住崎五丁目)

平成28年3月生まれ  
やんちゃで元気いっぱいな和玖♡ ぱぱとまの宝物だよ。

キ  
ツ  
ズ  
ア  
ル  
バ  
ム

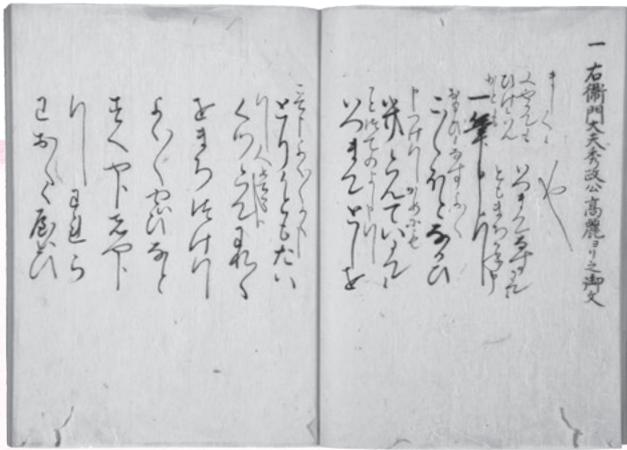
# 岩瀬文庫コレクション

なかがわけもんじょうつし  
中川家文書写

(38-62) 2冊

岩瀬文庫学芸員 林 知左子

今回は、岩瀬文庫蔵書の中から見つけた印象深い手紙を一つご紹介いたします。手紙が収録されていたのは『中川家文書写』。名曲「荒城の月」のモデルとして知られる豊後国岡城（大分県竹田市）の城主・中川家の模写文書集です。歴代当主とその家族の筆跡を丁寧に写し、収載したもので、中に一通、はっと胸を突かれる手紙がありました。



ただいま岩瀬文庫で開催中の「こんな本があった！～岩瀬文庫平成悉皆調査中間報告展15～」に、本書ははじめさまざまな手紙資料を出品中です。パラエティーに富んだ「ふみ」の魅力をご堪能ください。

初代城主・秀成の兄である中川秀

政（1568～1592）が、文禄の役に出陣中の朝鮮から留守宅の妻に送った手紙です。「こんなに長引くとは思わなかった。いつまでたっても多様なことが待ち受けていて退屈する暇もない」と苦笑交じりの口調で書き始められ、次いで「お灸などをよくすえて体に気を付けるように。私はおかげで無病息災だ」と妻の健康を気遣い、また自分は大丈夫だと安心させます。そして手紙の後半を占めるのは、生まれたばかりの娘、こちようのことでした。「こちようは元気にしているだろうか、知らせてほしい。鼻は高くなったか。耳鳴りは良くなったか。私たちに似ているだろうか。ものを言ったか。たよりがほしい」と。

立ったか。ぜひ知りたいものだ。若い父親が遠く戦地にあつて、幼い娘のことをくり返し思いやる文面は、時代を超えて胸に迫ります。しかし、このあと間もない10月24日、秀政は敵襲に遭い、娘を再びその手に抱くことなく命を落とします。25歳の若さでした。

岩瀬文庫 (☎56・2459)

# 月刊!! スポーツにしお

Vol.36

スケートボードの練習ができるよ

## 高架下スポーツ施設の紹介

国道23号名豊道路岡崎バイパスの高架下にあるスポーツ施設をご紹介します。西尾東インターチェンジの東側にグラウンドゴルフ場、中原インターチェンジの南側に総合体育館の第3駐車場を兼ねたスケートボード場があります。今回はスケートボード場を紹介します。

この施設は高架下にあるため、雨天でも利用できます。西三河地域では西尾市にしかないのです。市外の方も多く利用しています。近年、スケートボードは親子で楽しめるスポーツとして魅力が広まっています。

### オリンピックの正式種目に

スケートボードは2020年開催の東京オリンピックの正式種目です。オリンピックでは、「パーク(PARK)」「ストリート(STREET)」の2種に分けて競技が行われます。



「パーク」はお椀型のボールなど湾曲面を複雑に組み合わせたコースを、「ストリ



ート」は街中に存在するような階段や縁石、手すりなどを模したコースを使用します。両種目とも、スピードや高さ、技の組み合わせ、独創性、構成、完成度が評価される採点競技です。

この施設で練習を積んだ子どもたちがオリンピックに出場——そんな日が来るかもしれませんね。

### ●スケートボード場

**利用時間** 午前9時から日没まで  
**休場日** 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)、12月29日、1月3日、駐車場で使用する日  
**所在地** 志籠谷町乾地72  
**利用料** 無料  
**利用申し込み** 利用日の3か月前の初日以降に、直接総合体育館で予約してください。  
※事前に団体登録(2人以上。中学生以下のみ)の登録は不可が必要

問 スポーツ課施設担当 (☎54・0002/総合体育館内)

## 西尾市のデータ

### ■人口



	2月1日現在	前月比
男性	87,123人	+97人
女性	84,934人	+80人
計	172,057人	+177人
世帯数	63,551世帯	+173世帯

### ■交通事故の状況



	人身事故 件数	死傷者	
		死者	死者
1月	60件	74人	0人
30年累計	60件	74人	0人

### ■犯罪発生状況



	刑法犯総数	侵入盗	特殊詐欺
1月	63件	12件	0件
30年累計 (被害総額)	63件	12件	0万円

### ■消防の状況



	火災	救助	救急
1月	4件	1件	674件
30年累計	4件	1件	674件

## 今月の表紙

2月4日に行われた黒壁運動、「おひるねハウス」での一こま。佐久島は潮風から家屋を守るため壁が黒く塗られ、「三河湾の黒真珠」と呼ばれています。黒壁運動はこの景観を守ろうと平成16年度に始まった取り組みで、今年は約140人のボランティアが参加。黒く塗り替えられた町並みやアートは息を吹き返していました。

## 編集雑記

18ページ掲載「はず夢ウォーク」の取材に行ってきました。市内外から多くの方が参加していましたが、地元幡豆の方も参加し、自分のまちを歩くことを楽しんでいたのが印象的でした。普段は車で何気なく通り過ぎていた道。自分の足で歩くと、目に入ってくる景色も変わり、新たな発見がありそう。もしかしたらいい写真が撮れるかも。3月になり暖かくなってきます。ぽかぽか陽気の日、カメラ片手にふらっと近くを散歩してみようと思います。(石)

スクールスマイルショット

# School Smile Shot

### ●八ツ面小学校

1月27日に学芸会が行われました。6年生110人が演じたのは、名作「サウンド・オブ・ミュージック」。表現豊かな演技と息の合った歌声で、絆を深める家族の物語に観客を引き込んでいました。



### ●吉田小学校

1月27日、全学年で食育の授業が公開されました。5年生は「野菜を食べよう」がテーマ。1日に必要な野菜の量を実際に計るなど、野菜の大切さを楽しみながら学んでいました。



### ●一色中部小学校

2月5日、地域の方々を招いて全校防災集会が行われました。学年ごとに、災害時に危険な場所や災害への備え、避難所運営など、防災について自分たちが調べた成果を発表しました。



## 【西尾市役所】

URL (パソコン) <http://www.city.nishio.aichi.jp/>  
(携帯電話) <http://www.city.nishio.aichi.jp/mob/>

E-mail [nishio@city.nishio.lg.jp](mailto:nishio@city.nishio.lg.jp)

■本 庁 ☎0563・56・2111 (代表)  
〒445-8501 西尾市寄住町下田22

■一色支所 ☎0563・72・7111 (代表)  
〒444-0492 西尾市一色町一色東前新田8

■吉良支所 ☎0563・32・1111 (代表)  
〒444-0596 西尾市吉良町荻原川畑20

■幡豆支所 ☎0563・62・5511 (代表)  
〒444-0798 西尾市西幡豆町仲田14-2



バーコード対応の携帯電話などで読み取ると「モバイル@西尾市役所」が閲覧できます。